

使用上の注意事項！！

衝突被害軽減ブレーキ（スマート・ブレーキ・サポート/SBS）

レーダーセンサーおよびカメラが前方車、歩行者（昼間/夜間）、自転車（昼間）へ衝突する可能性がある
と判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。
衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害を軽減。
ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

- * 対象が前方車：約4km/h以上 対象が歩行者（昼間/夜間）
対象が自転車（昼間）：約10km/h～約80km/h
- * 対象物の形状（低い・小さい・細いなど）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（急カーブ、
急な坂道など）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

危険回避ステアリングアシスト（レーンキープ^o・アシスト・システム/LAS）

約60km/h 以上で走行中に車線の白線（黄線）を検知して、自車が車線から逸脱する可能性がある
とシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシストします。

- * 天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が
見えにくいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

ペダルの踏み間違い事故防止（AT誤発進抑制制御〔前進時/後進時〕）

徐行中（前進時：約15km/h以下、後退時：約10km/h以下）や停車時、
カメラや超音波センサーが前方または後方に車両や壁などの障害物を検知しているにも関わらず、
必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑制。
前進時には、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害を軽減します。

- * 障害物の形状（低い・小さい・細いなど）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（平坦でないなど）
などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)

ALH は、フォワードセンシングカメラ (FSC) を使用することにより夜間走行時に前方の状況を判断し、
ヘッドランプの照射範囲、照射部分、明るさを自動的に変化させるシステムです。

- * システムを過信せず、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を手動で切り替えてください。

- * SBS、LAS、AT誤発進抑制制御〔前進時/後進時〕、ALHは、ドライバーの安全運転を前提とした
システムであり、運転負荷や事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界があります
ので過信せず、安全運転を心がけてください。

その他、MAZDA OFFICIAL WEB SITE をご確認ください。